

京都 実相院門跡

宇野日出生 編

京都府京都文化博物館・京都市歴史資料館 企画

2016年2月刊行

B5判・144頁／定価：本体2,000円(税別) ISBN978-4-7842-1835-6

春の桜爛漫から始まり、客殿板間に季節の色を写し出す新緑の「床みどり」、秋の「床もみじ」、冬の「雪化床」(ゆきげしょう)——四季の美しさで巷に知られた門跡寺院、実相院。そんな格式ある実相院の内情について、できる限りの探求を試みた最初の研究書。総論と各論から構成され、各論では建築・庭園・絵画・彫刻・文学・史料それぞれの専門研究者が最新の調査研究成果を執筆。

平成28年2月20日(土)～4月17日(日)京都府京都文化博物館にて開催の展覧会「実相院門跡展—幽境の名刹—」にあわせて制作し、各部屋に配される狩野派の障壁画をはじめ、見ごたえある出品作品の一部をカラー図版に収める。

内容目次

ごあいさつ

(実相院門跡 原敬泉)

はじめに

〈カラー図版〉

〈論考〉

総論 洛北岩倉と実相院

宇野日出生(京都市歴史資料館統括主任研究員)

第一章 構造のけしき

貴族邸宅の遺構

日向 進(京都工芸繊維大学名誉教授)

第二章 空間のよそおい

門跡寺院特有の庭

今江秀史(京都市文化市民局文化芸術都市推進室)

第三章 美のしつらい

実相院の襖絵

奥平俊六(大阪大学大学院文学部教授)

第四章 信仰のかたち

不動明王立像をめぐって

井上二稔(同志社大学文学部教授)

第五章 文事のせかい

洗練された教養・風雅な生活

廣田 收(同志社大学文学部教授)

第六章 史料のかたり

中世の実相院と大雲寺

長村祥知(京都文化博物館学芸員)

大雲寺力者と天皇葬送

西山 剛(京都文化博物館学芸員)

門跡の生活—『実相院日記』の義周親王—

佐竹朋子(柳沢文庫学芸員)

年譜 実相院門跡



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	京都 実相院門跡	本体2,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1835-6	
お名前			tel	本書HPのQRコード	
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

春秋 京大和翠紅館 平安から平成まで 京の雅

木村幸比古・中根史郎・中村昌生著
京都の老舗料亭京大和は東山の麓にあり、江戸時代には西本願寺の別業で翠紅館と称された。本書は、その歴史・庭・建築をカラー口絵と解説で紹介。大正時代に建てられた建物や藪内流茶室について、和建築の第一人者である中村昌生氏が、多数の図面とともに詳述する。
▶B5判・80頁/本体2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1417-4

老僧が語る京の仏教うらおもて

五十嵐隆明著
永観堂禅林寺の住職をかつて勤めた著者による、あまり語られない京都を中心とした近代仏教界の内幕。幕末維新の動乱と屯所になった寺院との結びつき、第2次世界大戦時の仏教界の戦争協力と戦後の反省。2回にわたる「古都税」導入の動きとその反対運動。医療・福祉への取り組みなど、著者自身の体験を踏まえながら語る仏教界のあれこれ。
▶46判・232頁/本体900円(税別) ISBN978-4-7842-1683-3

歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編
各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都アスニーで行われた公開講演に加え、研究者・ジャーナリストによるコラムや、執筆者による座談会を収録。
▶A5判・340頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1514-0

京都 伝統工芸の近代

並木誠士・清水愛子・青木美保子・山田由希代編
京都における、他の地域とは異なる側面を有する「近代」にあって、美術・工芸がどのような変容をとげて現代にいたっているのか。大きく「海外との交流」「伝統と革新」「工芸と絵画」「伝統工芸の場」の視点から、様々なトピックスや人物にまつわるエピソードを取り上げ概観する。
▶A5判・300頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1641-3

宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所伊勢物語絵研究会編
依屋宗達の工房で制作された「伊勢物語図色紙」の全体像と特徴を明らかにした一書。59面すべてカラー原寸大で掲載し、色紙に描かれた伊勢物語の解釈、宗達における色紙の位置づけ、裏書の解説、色紙の特徴的な構図と技法、色紙成立の動機など、新たな知見を収める。
▶B4判変・220頁/本体19,000円(税別) ISBN978-4-7842-1679-6

大本山くろ谷 金戒光明寺 宝物総覧

浄土宗大本山くろ谷金戒光明寺発行
京都白川の浄土宗大本山金戒光明寺は多くの文化財を所蔵しており、その公刊がかねてより望まれていた。法然上人800年大遠忌にあたり、仏像・仏画・仏典・絵画・古文書など貴重な寺宝をオールカラーで掲載。仏教美術・仏教史・美術史他に寄与する一書。
▶A4判変・516頁/本体28,000円(税別) ISBN978-4-7842-1564-5

大徳寺伝来五百羅漢図

奈良国立博物館・東京文化財研究所編
中国南宋時代に全100幅制作され、うち82幅が大徳寺に伝来する仏教絵画「五百羅漢図」。ポストン美術館・フリーア美術館所蔵2幅と江戸時代の補作6幅を含めた現存全100幅を大型高精細カラー図版で収録。一点ごとに画題と解説を付す。また、最前線の研究者による論文8本も収録。
▶B4判・312頁/本体50,000円(税別) ISBN978-4-7842-1743-4

※正倉院宝物に学ぶ

奈良国立博物館編
日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院研究の現在、八世紀の東アジア文化、宝物の保存・伝承の3つのテーマで報告・討論。正倉院宝物の精粹がわかる一書。
▶46判・438頁/本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1439-6

老舗に学ぶ京の衣食住

西岡正子編 佛敎大学四条センター叢書5
京都に百年以上続く老舗の、商品に秘められた技や歴史はもとより、生活のなかに息づく智慧や文化・経営哲学を紹介。【掲載店】二軒茶屋中村楼/松栄堂/祇園辻利/祇をん幾岡屋/嵐山熊彦/龍善堂/半兵衛麩/松文商店/村山造酢/彩雲堂/本家尾張屋本店/上七軒大文字/京つけもの西利/泰生織物/亀末廣/いもぼう平野屋本家
▶A5判・242頁/本体1,900円(税別) ISBN978-4-7842-1673-4

神話・伝承学への招待

斎藤英喜編
桃太郎は、なぜ桃から生まれてくるのだろうか——その答えは『古事記』のなかにあった。これまで別々のジャンルで扱われてきた「神話」と「伝説」「昔話」について、総合的・学問的に研究する「神話・伝承学」。本書は11の章と7つのコラムにより、魅力ある「神話・伝承学」の世界へいざなう、格好の入門書。
▶A5判・266頁/本体2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1813-4

みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編
平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わったまちであった——。研究分野の相違を問わず、また、時流の政治や論調に動ずることなく、「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じた85篇。図版多数収録。
▶A5判・268頁/本体2,600円(税別) ISBN978-4-7842-1378-8

琳派 響きあう美

河野元昭著
日本近世絵画史全体にわたる業績のなかから、その中核をなす琳派研究を集大成。光悦・宗達・光琳・乾山・抱一・其一など、琳派と呼ばれる芸術家たちが互いにどう影響しあい、独自の美を生み出してきたのか。今もなお人びとを魅了してやまない才能あふれるクリエイターたちの実像に迫る27篇。
▶A5判・880頁/本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1785-4

室町水墨画と五山文学

城市真理子著
室町時代中期の画僧である岳翁と東福寺僧了庵桂悟の関係を手がかりに、詩画軸制作のありようを探り、雪舟と関連づけることで、周文の実像に迫る試み。さらに禅僧の文人的営為を反映するものとして、周文筆と伝えられる詩画軸や煎茶図様の水墨画について考察し、室町時代の詩文僧による〈詩画軸制作システム〉を解明していく。
▶A5判・336頁/本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1607-9

石山寺の信仰と歴史

鷲尾遍隆監修/綾村宏編
琵琶湖畔瀬田川のほとりに伽藍を構える石山寺は、聖武天皇の勅願により創建され、古くから親音信仰の聖地であり、紫式部が源氏物語の着想を得たという伝説が残るなど、多くの人より信仰と文化が育み守られてきた名刹。その信仰・歴史・美術・文学・経典を、第一線の研究者がオールカラーで解説。図版150点。
▶A5判・180頁/本体1,800円(税別) ISBN978-4-7842-1387-0

仏教美術を学ぶ

中野玄三・加須屋誠著
50年以上の長きにわたる中野美術史学の軌跡を、加須屋誠氏との対談をとおして振り返り、仏教美術を学ぶことの課題・方法・魅力を余すところなく収録。ソフトな文体で読みやすく、仏教美術の入門書としても最適な一書。
▶A5判・348頁/本体3,000円(税別) ISBN978-4-7842-1720-5

正倉院宝物に学ぶ2

奈良国立博物館編
日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院宝物の様々な面を報告・討論する第2弾。今回は2008~2010年の正倉院学術シンポジウム「正倉院研究の現在」「皇室と正倉院宝物」「正倉院宝物はどこで作られたか」の3テーマを収録。
▶46判・348頁/本体2,500円(税別) ISBN978-4-7842-1658-1

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。